

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東  
 コード番号 5970 URL http://www.g-tekt.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 俊嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 木下 三五郎 (TEL) 048-646-3400  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	86,571	12.4	6,375	△5.9	6,341	△3.5	3,746	△13.7
25年3月期第2四半期	77,015	42.5	6,772	380.5	6,572	977.7	4,341	△54.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 11,865百万円(211.9%) 25年3月期第2四半期 3,803百万円(△52.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	170.71	—
25年3月期第2四半期	215.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	169,612	91,814	49.1
25年3月期	144,752	80,487	50.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 83,196百万円 25年3月期 73,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
26年3月期	—	18.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	178,000	15.1	14,000	22.9	13,400	13.4	8,700	15.4	396.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) G-TEKT North America Corporation、除外 1社(社名) —

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	21,965,630株	25年3月期	21,965,630株
② 期末自己株式数	22,086株	25年3月期	21,986株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	21,943,571株	25年3月期2Q	18,912,775株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

<u>目 次</u>		頁
1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 経営成績に関する説明 .....	2
	(2) 財政状態に関する説明 .....	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示 .....	4
3.	四半期連結財務諸表 .....	5
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
	(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
	(5) セグメント情報等 .....	11
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12
	(7) 重要な後発事象 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内外の経済情勢は、国内景気は円安・株高と政府の経済対策により回復基調で推移いたしました。

海外については、欧州では景気が下げ止まっているほか、新興国の一部では景気の減速がみられるものの、米国は緩やかな回復傾向にあり、総じて世界全体で緩やかな成長が続きました。

自動車業界につきましては、国内の生産・販売実績は弱含みで推移しましたが、海外におきましては、北米・アジアを中心に生産・販売が拡大・回復傾向にあります。

当第2四半期連結累計期間の業績については、前年同四半期に比べ、とりわけアジアでの生産が着実に拡大し、為替換算の影響もあり、売上高は86,571百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。他方、利益につきましては、労務費等のコスト増加の影響により、営業利益は6,375百万円（前年同四半期比5.9%減）、経常利益は6,341百万円（前年同四半期比3.5%減）、四半期純利益は3,746百万円（前年同四半期比13.7%減）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①日本

顧客からの受注減少や軽自動車の構成増加等により、売上高は21,764百万円（前年同四半期比15.7%減）、営業利益は1,376百万円（前年同四半期比44.8%減）となりました。

## ②北米

新型車の販売好調による生産台数の増加に加え、為替換算の影響もあり、売上高は31,436百万円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益は1,289百万円（前年同四半期比28.2%増）となりました。

## ③欧州

第2四半期に生産台数が減少したものの、為替換算の影響もあり、売上高は4,151百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は365百万円（前年同四半期比10.4%減）となりました。

## ④アジア

タイとインドにおいて生産台数が増加し、販路の拡大も順調に進み、為替換算の影響もあって、売上高は17,148百万円（前年同四半期比82.1%増）となりましたが、一部新機種の量産設備の調達コストがかさみ、インドネシアにおいては新会社立ち上げ費用の発生などがあり、営業利益は2,122百万円（前年同四半期比69.5%増）となりました。

## ⑤中国

昨年後半の日中関係悪化による販売減少から回復しつつあり、為替換算の影響もあって、売上高は13,253百万円（前年同四半期比4.1%増）となりましたが、労務費等が増加したこともあり、営業利益は914百万円（前年同四半期比28.3%減）となりました。

## ⑥南米

生産台数の増加に加え、為替換算の影響もあり、売上高は3,330百万円（前年同四半期比17.5%増）となりましたが、労務費等が増加したこともあり、営業利益は268百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より24,859百万円増加し、169,612百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金、仕掛品、有形固定資産の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より13,533百万円増加し、77,798百万円となりました。これは主に、買掛金、短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より11,326百万円増加し、91,814百万円となりました。これは主に、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より4,549百万円増加し、17,676百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、7,451百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6,381百万円、減価償却費6,625百万円、売上債権の増加額2,421百万円、たな卸資産の増加額2,797百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、10,958百万円となりました。これは主に、定期預金払戻による収入2,047百万円、有形固定資産の取得による支出12,010百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、7,062百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額4,036百万円、長期借入れによる収入6,940百万円、長期借入金の返済による支出3,348百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年7月31日発表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、子会社としてアメリカ・オハイオ州にG-TEKT North America Corporationを設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,746	18,494
受取手形及び売掛金	19,059	22,412
製品	654	738
仕掛品	10,119	13,696
原材料	1,688	1,514
貯蔵品	447	575
その他	3,564	3,759
流動資産合計	51,280	61,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,274	33,531
機械装置及び運搬具(純額)	25,306	26,646
工具器具及び備品(純額)	8,655	11,424
土地	9,722	10,255
建設仮勘定	9,366	13,729
有形固定資産合計	82,325	95,588
無形固定資産		
投資その他の資産	1,534	1,707
投資有価証券	6,735	8,484
その他	2,876	2,639
投資その他の資産合計	9,612	11,124
固定資産合計	93,472	108,420
資産合計	144,752	169,612
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,270	15,409
短期借入金	19,724	24,895
1年内返済予定の長期借入金	5,961	6,535
未払金	6,518	6,914
未払法人税等	451	602
賞与引当金	915	1,287
その他	2,329	3,208
流動負債合計	49,170	58,854
固定負債		
長期借入金	10,989	14,587
退職給付引当金	1,237	1,283
その他	2,867	3,073
固定負債合計	15,094	18,943
負債合計	64,265	77,798

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	42,826	46,177
自己株式	△20	△20
株主資本合計	71,120	74,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,468	1,911
繰延ヘッジ損益	△16	△17
為替換算調整勘定	466	6,831
その他の包括利益累計額合計	1,918	8,725
少数株主持分	7,449	8,617
純資産合計	80,487	91,814
負債純資産合計	144,752	169,612



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	77,015	86,571
売上原価	65,759	75,027
売上総利益	11,256	11,543
販売費及び一般管理費	4,483	5,167
営業利益	6,772	6,375
営業外収益		
受取利息	132	105
受取配当金	38	50
為替差益	—	132
その他	183	128
営業外収益合計	354	416
営業外費用		
支払利息	360	360
為替差損	124	—
その他	69	89
営業外費用合計	554	450
経常利益	6,572	6,341
特別利益		
固定資産売却益	47	47
特別利益合計	47	47
特別損失		
固定資産売却損	9	7
固定資産除却損	14	—
ゴルフ会員権評価損	2	—
特別損失合計	27	7
税金等調整前四半期純利益	6,592	6,381
法人税等	1,992	1,878
少数株主損益調整前四半期純利益	4,599	4,503
少数株主利益	257	757
四半期純利益	4,341	3,746

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,599	4,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△408	443
為替換算調整勘定	△313	6,742
繰延ヘッジ損益	—	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	176
その他の包括利益合計	△795	7,361
四半期包括利益	3,803	11,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,742	10,553
少数株主に係る四半期包括利益	61	1,311

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,592	6,381
減価償却費	5,729	6,625
のれん償却額	31	38
退職給付引当金の増減額(△は減少)	68	34
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	20	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	393	364
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△1,075	—
受取利息及び受取配当金	△170	△155
支払利息	360	360
持分法による投資損益(△は益)	△38	75
固定資産除売却損益(△は益)	△23	△40
売上債権の増減額(△は増加)	△973	△2,421
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,136	△2,797
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,073	973
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	△59	△257
前受金の増減額(△は減少)	1,774	1,036
未払金の増減額(△は減少)	670	△1,791
その他	792	701
小計	11,881	9,133
利息及び配当金の受取額	169	165
保険金の受取額	1,075	—
利息の支払額	△396	△452
法人税等の還付額	—	6
法人税等の支払額	△2,864	△1,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,865	7,451
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,403	2,047
有形固定資産の取得による支出	△7,849	△12,010
有形固定資産の売却による収入	72	65
無形固定資産の取得による支出	△33	△63
投資有価証券の取得による支出	△26	△962
その他	△3	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,245	△10,958

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,943	4,036
長期借入れによる収入	1,023	6,940
長期借入金の返済による支出	△3,574	△3,348
割賦債務及びファイナンス・リース債務の返済による支出	△26	△28
株式の発行による収入	5,553	—
配当金の支払額	△283	△394
少数株主への配当金の支払額	△91	△143
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,341	7,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	994
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,726	4,549
現金及び現金同等物の期首残高	15,387	13,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,661	17,676

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	20,646	27,526	4,082	9,406	12,518	2,834	77,015
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,167	13	1	10	208	—	5,400
計	25,813	27,539	4,084	9,416	12,726	2,834	82,416
セグメント利益	2,494	1,005	408	1,252	1,275	270	6,706

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,706
セグメント間取引消去等	97
のれんの償却額	△31
四半期連結損益計算書の営業利益	6,772

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、当社及び一部の海外連結子会社における有形固定資産の減価償却方法は、従来、定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この結果、従来の方法に比較して、第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「日本」で204百万円、「北米」で70百万円それぞれ増加しております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	18,277	31,428	4,150	17,103	12,280	3,330	86,571
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,487	8	1	45	973	-	4,514
計	21,764	31,436	4,151	17,148	13,253	3,330	91,085
セグメント利益	1,376	1,289	365	2,122	914	268	6,336

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,336
セグメント間取引消去等	77
のれんの償却額	△38
四半期連結損益計算書の営業利益	6,375

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、子会社としてアメリカ・オハイオ州にG-TEKT North America Corporationを設立し、新たに「北米」セグメントに加えております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)  
該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。